

6. 学術情報センター

学術情報センター長	南沢 享 (細胞生理学講座)	(平成28年4月から)
学術情報センター図書館国領分館長	内田 満 (看護学科)	(平成29年4月から)
学術情報センター標本館委員会議長	橋本 尚詞 (解剖学講座)	(平成20年4月から)
学術情報センター国際交流センター長	芦田 ルリ (国際交流センター)	(平成29年4月から)

1) 平成29年度統計 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 図書館

① 蔵書冊数	262,872冊
② 現在受入雑誌数	687種 (和591種、洋96種)
③ 電子ジャーナル提供数	8,468種
④ 館外貸出冊数	8,025冊
⑤ 入館者数	90,562人
⑥ 他学との文献相互貸借数	貸出1,873件 借受2,155件
⑦ 複写サービス	50,377枚 (代行複写、相互貸借 (他館への提供)、 附属病院へのFAX送信、セルフコピーの合計)
⑧ 情報検索サービス	111,734件 (代行とセルフサービスの合計)

(2) 国領分館

① 蔵書冊数	92,648冊
② 現在受入雑誌数	286種 (和242種、洋44種)
③ 館外貸出冊数	7,629冊 (視聴覚資料含む)
④ 複写サービス	460件 (西新橋・葛飾・柏・相互貸借 (他館) 分のFAX送信)

(3) 標本館

① 所蔵標本数	マクロ標本	1,472点
	顕微鏡標本	2,549点
② 所蔵視聴覚資料	ビデオ・プログラム	1,898セット
	スライド・プログラム	601セット
	16mmフィルム	37セット
	コンピュータ・ソフトウェア	76セット
	語学プログラム	206セット
	その他	79セット
③ 見学者数		598名 (学内92名、学外506名)

(4) 史料室

① 所蔵史料	3,131点
② 見学者数	131名 (学内22名、学外109名)

(5) 写真室

① 撮影・スライド作成	119件 (3,848枚)
② ビデオ編集	45件 (183時間)
③ カラープリント出力 (ポスター作成含む)	630件 (11,737枚)
④ 35mmスライドのデジタル化	13件 (615枚)

(6) 国際交流センター

① 海外選択実習 派遣 協定校 医学科	18名 (男子10名、女子8名)
	(米国、英国各5、ドイツ4、台湾2、シンガポール、タイ各1)

看護学科 2名(男子1名、女子1名)
(英国2)

協定校外 医学科 1名(男子1名)(米国1)

受入 126名(男子62名、女子64名)

(フィリピン15、オーストラリア、台湾各13、ドイツ9、ニュージーランド8、マレーシア6、インドネシア5、ポーランド、米国、中国各3、オーストリア、韓国各2、他8)

(救急科19、消化器外科、産婦人科各12、放射線科11、麻酔科、皮膚科各9、小児科、形成外科各8、呼吸器外科、腎臓・高血圧内科、脳神経外科各7、血管外科6、整形外科、消化器・肝臓内科各5、眼科、小児外科、糖尿病・代謝・内分泌各4、再生医学(研究実習)、耳鼻咽喉科、心臓外科、神経内科各2、他6)

② International Cafe(海外からの選択実習生と本学学生、教職員との交流会)

開催:51回、参加者:のべ952名

③ 医学科学生の英語医療面接実習

開催:1年生 2回、4・5年生 6回

④ 看護学科学生の英語医療面接実習

開催:3年生 2回

2) 主な事項

- (1) 『東京慈恵会医科大学教育・研究年報2016(第36号)』および『Research Activities 2016』の編集
両年報の編集作業を担当した(両年報とも12月1日発行)。
- (2) 教員評価システム管理委員会に関する取り組み
平成28年度に教員評価システムがリプレースされ、実運用に向け、業績データ入力機能の改修を担当した。
- (3) 図書館システムの更新
図書館システムの契約更新を行った。館内の各端末もリプレースした。
- (4) ネットワークを介した情報提供
電子ジャーナルと医学関連データベースをネットワーク経由で利用できる環境を維持した。データベースに新規データが追加された際に電子メールにて通知するサービス(AutoAlertサービス)を引き続き実施している。また、新聞4紙から医療および大学関係の記事の見出しを学内に電子メールで配信するサービス(平成16年12月開始)も継続した。
- (5) リモートアクセスサービスの提供
大学ネットワーク上で利用可能となっている電子ジャーナルおよびデータベースを学外(自宅や派遣先)からアクセスするためのサービスである「リモートアクセスサービス」(平成21年度開始)の利用者登録とサポート作業を行った。平成29年度の新規登録者は347名で、平成29年度末までに利用登録者は2,873名となった。
- (6) 医学部学生および大学院生の演習の担当
医学科1年生の「情報検索演習」、2年生の「医学総論」、医学科3年生「医学統計学Ⅱ演習」、看護学科1年生の「総合演習」、看護学科3年生の「研究方法論:文献検索実習」での情報検索演習、看護学科1年生の図書館オリエンテーション、大学院医学研究科看護学専攻修士課程1年生への演習を担当した。
- (7) 教職員等を対象とした情報検索演習
教育センターによる附属4病院の在職看護師を対象とした「エデュケーションナース研修」(9月4日)と「看護監督者研修」(12月4日)、東京慈恵会による学外の看護教育関係者を対象とした「教務主任養成講習会」(6月20日)で情報検索演習を担当した。また、教職員を対象としたデータベース講習会を2回実施し、延べ29名の参加があった。新たに、研修

- 医シミュレーション研修の検索演習を担当した（11月11日、40名）。さらに、診療支援ツールUpToDateの管轄が6月より臨床研修センターから学術情報センターに移動し、積極的に広報活動を行い、大学2号館（2月20日）や葛飾医療センター（3月29日）でヘルプデスクや利用説明会を実施した。
- (8) 医学論文書きかた講習会の開催
Jikeikai Medical Journal編集委員会と東京慈恵会医科大学雑誌編集委員会の共催による以下の講習会の開催を担当した。これらの講習会は大学院共通カリキュラムの必須科目「医学研究概論」の授業を兼ねている。
- ・「アクセプトされやすい臨床医学研究論文（英文）の書き方」（5月11日）（参加65名）
相澤良夫客員教授
 - ・「今日から始める論文作成～論文作成のプロセスすべて教えます！～」（5月16日）（参加89名）
辰巳徳史助教（解剖学講座）
 - ・「How to Give Good and Bad Presentations in English」（5月18日）（参加61名）
岡崎真雄教授（学術情報センター医学英語研究室）
 - ・「論文から特許出願へー知的財産化への英文ライティング技術」（5月30日）（参加52名）
小原平教授、染谷悦男非常勤講師（英語研究室）
（開催時間は、いずれも18時～19時30分）
- (9) 総合展示の開催
以下2テーマの展示の提供をいただき、1月22日（月）～2月2日（金）に大学1号館ロビー、高木2号館地下1階ロビーにて開催した。
- 「千葉県東葛北部医療圏における地域医療連携」
東條克能教授（内科学講座（糖尿病・代謝・内分泌内科））
- 「臨床研究に学ぶ白血球に対する化学療法の進歩ーTo look back on my road walkedー」
薄井紀子教授（大学直属）
- (10) 教材・研究資料の作成支援
学内教職員・学生、同窓生を対象に、静止画・動画の撮影、画像データのデジタル編集、ポスター作成、ビデオ編集、35mmスライドのデジタル化の各サービスを実施した。
- (11) 学術リポジトリの運用
学内の学術成果物を電子的に蓄積し、インターネット上に公開するためのシステムである学術リポジトリの運用を担当している。『東京慈恵会医科大学雑誌』、『Jikeikai Medical Journal』、『教育・研究年報』、『Research Activities』の最新の内容を登録し、インターネット経由で参照できるようにした。また、学事課との協力により学位論文要旨に加え、主論文の学術リポジトリによるインターネット公開を行った。なお、学位規則変更にとともなう学位論文の電子公開に関して、転載許諾手続きについての問い合わせ先として編集室が指定された。平成29年度の来館・電話・メール等での対応は20件であった。
平成29年度の学術リポジトリへの登録件数は238件で、利用状況は閲覧814,944件であった。
- (12) 広報活動支援業務
学内行事および広報用の写真撮影、画像データの保管・提供を担当した。
- (13) 史料室の展示資料の調査
史料室の展示資料にカビ様物質の発生が再確認され、専門業者による調査、分析を行った。その結果、カビが再発生した跡と推定されたが、すでに調査時点では死滅が確認され、経過観察処置となった。
- (14) 海外からの選択実習生の受入れ
海外医科大学からの選択実習生の受入れは、平成29年4月～平成30年3月の期間で126名（男子学生62名、女子学生64名）であった。なお、毎週月曜日に選択実習生と本学学生、教職員との交流会（International Café）を開催した。

- (15) 医学科学生 of 英語医療面接実習の実施
 医学科学生を対象にした外国人模擬患者による英語医療面接実習を実施した。
- ・オープンキャンパス英語医療面接実習
 - 8月10日（1年生6名参加）、8月12日（1年生6名参加）
 - ・海外臨床実習へ向けての英語医療面接実習－医学科 第1回セッション
 - 11月4日（5年生20名参加）※講義・練習：10月28日
 - 11月18日（5年生18名参加）
 - ・海外臨床実習へ向けての英語医療面接実習－医学科 第2回セッション
 - 12月9日（5年生19名参加）※講義・練習：11月25日
 - 12月16日（5年生14名参加）
 - ・海外臨床実習へ向けての英語医療面接実習－看護学科
 - 2月5日、2月16日
- (16) 海外実習・留学支援セミナーの開催
 10月20日（金）に第3回海外実習・留学支援セミナーを開催した。44名の参加があった（学生14名・レジデント2名・教職員28名）。
- (17) 学術発表（海外選択実習成果報告会）の方法に関する講習会の開催
 9月30日に岡崎真雄教授による学術発表（海外選択実習成果報告会）の方法に関する講習会を開催した。
- (18) 後輩向け海外課外実習体験発表会の開催
 9月30日に平成29年度後輩向け海外課外実習体験発表会を開催した。
- (19) 海外選択実習成果報告会の開催
 12月9日に平成29年度海外選択実習成果報告会を行った。平成29年度海外選択実習生14名の報告の審査結果を教学委員会に報告の後、学長から優秀賞が3名に授与された。
- (20) 危機管理セミナーの開催
 12月25日（月）に海外実習予定者のための危機管理セミナーを開催した。
- (21) メイヨークリニックニューマン博士のシミュレーション実習の開催
 8月14日（月）に米国のメイヨークリニックのニューマン博士を迎えて、シミュレーション実習を開催した。医学科6年生2名、5年生6名が参加した。
- (22) 「IELTSセミナー」「TOEFL iBTテスト スキルアップセミナー」の開催
 2月7日（水）にIELTSセミナーを開催した。医学科4年生6名、3年生2名、2年生1名、1年生1名、看護学科3年生1名が参加した。また、2月15日（木）にTOEFL iBTテスト スキルアップセミナーを開催した。医学科4年生7名、2年生2名が参加した。
- (23) 奨学金、助成金の支給
 海外での学習、発表等に対する奨学金や助成金の支給に関する業務を担当した。
- ・宮本幸夫を応援する会による海外派遣助成 前期2名20万円 後期7名80万円
 申込者から国際交流センター運営委員会が選考し、教授会議に報告の上、学長が決定した。
 - ・学外研究員 平成27年度選考者1名341万円、平成28年度選考者1名365万円、平成29年度選考者1名212万円
 平成30年度学外研究員を、推薦された候補者から国際交流センター運営委員会にて選考した候補者を学長に報告し、学長が決定した。
 - ・慈恵医師会海外選択実習奨学金 8名136万円
 希望者から国際交流センター運営委員会が選考し、教学委員会に推薦した。教学委員会は支給者を決定し、教授会議に報告した。
 - ・独立行政法人日本学生支援機構 平成29年度海外留学支援制度（協定派遣・協定受入）
 6名48万円（派遣） 9名96万円（受入）
 協定校での選択実習希望学生から国際交流センター運営委員会が選考し、独立行政法人日本学生支援機構に申請の上、支給した（協定派遣）。また、協定校からの選択実習生

から国際交流センター運営委員会が選考し、独立行政法人日本学生支援機構に申請の上、支給した（協定受入）。

- (24) 国際交流センターの移転
2～3月に国際交流センターが高木会館から大学管理棟1階へ移転した。
- (25) 「東京慈恵会医科大学130年史（平成23年度発行）」関連の業務
掲載内容に関する問い合わせへの対応、130年記念事業寄付者へ送付確認作業を担当した。
- (26) ジョンズ・ホプキンス大学バウムガートナー博士講演会の開催
米国のジョンズ・ホプキンス大学心臓外科ウィリアム・バウムガートナー博士を迎えて、心臓外科学講座と学術情報センターの共催により平成29年9月11日に特別講演会 "Evolution of Surgical Residency and Cardiac Surgery at Johns Hopkins: 1889-2017" を開催した。
- (27) 西新橋再整備計画「図書・講堂スモールワーキンググループ（SWG）」への参加
平成26年度から引き続き図書・講堂SWGに参加し、図書館移転計画案の作成に取り組んだ（再整備統括会議にて、高木会館は減築後も4階が使用できることとなり、標本館のF棟への移転は中止となった）。
- (28) 図書館のリノベーション
図書館利用環境の整備として以下の作業を行った。
 - ① 書庫1～4層への机（照明器具付き）の入替及び書庫3～4層の個室整備
 - ② 閲覧室1階の集合教育とグループ学習のエリアの整備
 - ③ 有線ネットワーク整備